

OBたちのロマンが花園で!

●第6回・地域職域同窓会責任者会議/その2!

A君のミシガン・サマーセミナー報告に続いて、「第6回・地域職域同窓会責任者会議」の議事では、「浦高ラグビー部全国大会出場特別後援会」「母校創立120周年事業」について事務局から報告されました。

* *

◆浦高ラグビー部全国大会出場特別後援会報告



昨年暮れの花園出場【写真①】に対して、ラグビー部OB会・浦高後援会・浦高同窓会が一体となって特別後援会が結成されて関係者の皆さんに寄付を募りました。

1月21日現在で寄付金額が約3,240万円、支出は応援費や選手派遣費などで約1,790万円、残金が約1,450万円となりました。残金については、有効に活用することで検討されています。【写真②:応援グッズのタオルと手旗】



* *

【感想・意見】

◇ラグビー部のOBとして、皆様のご支援に対してお礼申しあげます。54年前に全国大会に出場した人たちは、12・13・14回卒(72~70歳)の皆さんです。私は15回卒で、全国大会に出場することができず残念でしたが、54年ぶりにその無念を晴らしてくれました。感謝します。

◇浦高カラーは深紅だと思うのですが、今回のグッズが濃紺であったのは…。

⇒浦高ラグビー部は創立60年ですが、当初のユニフォームは白でしたが、県大会で各校が同じ白色では見分けがつかないので、浦高はユニフォームを濃紺に染めたと聞いています。浦高ラグビー部はそれ以来、濃紺をチームカラーとしてきました。

◇花園へ応援に行ったのですが、グッズがもらえず残念でした。追加作成することは…。

⇒2,000個作成しましたが、予想を上回る応援団でなくなりました。追加の予定はありません。

◇今回のラグビー部花園出場はOBのロマンでした。ぜひ、経過報告を残してほしい。

* *

◆母校創立120周年事業について

◇同窓会奨学財団事業発足の経緯

H25.05.26 総会で財団の設立及び定款について承認

H25.06.15 一般財団法人県立浦和高等学校同窓会奨学財団設立

H25.07.04 第2回ミシガン・サマーセミナー実施

H25.11.18 公益財団法人県立浦和高等学校同窓会奨学財団設立

* *

◇「浦和高校同窓会が奨学財団をつくる」

12月3日(火)に、県立浦和高校同窓会の会長であります川野幸夫ヤオコー会長が県庁を訪問され、このたび浦和高校同窓会が設立された「公益財団法人県立浦和高等学校同窓会奨学財団」についての御報告をいただきました。▼この財団は、経済的理由で勉学や進学が困難な学生を支援し、またグローバル社会で活躍できる人材を育成することを目的として設立され、県立浦和高校の在學生や卒業生を対象に成績が優秀で向学心旺盛な若者に奨学金を給付する事業を行われるのだそうです。▼奨学資金の造成に当たり、当初目標額を7,000万円に設定されたそうです。〔中略〕。本県の県立高校の同窓会でこうした奨学財団がつくられたのは初めてです。



目的の一つにグローバルな人材を海外に送り出そうということが掲げられていることも、これまであまりなかった特色かもしれません。▼一般的に、この種の奨学金は経済的な理由で勉学が困難な在學生などに対して支給される場合が多く、海外留学や海外のサマーセミナーに参加する学生や卒業生に対して支給する例はあまり聞いたことがありません。今後、本県の他の高校の同窓会はもちろん、全国の高校の同窓会で県立浦和高校と同じような動きが起こるようであれば大変素晴らしいことだと思います。▼埼玉県では、3年前に「グローバル人材育成基金」を設立しました。従来の自治体の水準と比べて一桁多い若者を世界に派遣するこの制度は、全国の各都道府県に影響を及ぼし、文部科学省にも少なからずショックを与えたと聞いております。その埼玉県でまた、全国に先行するような素晴らしい事業が県立高校同窓会から生まれたことは大変嬉しい限りです。

【知事の太鼓 打てば響く 12月25日(水)】

* *

知事のブログにも掲載されているそうです。感謝!